

図書館から始まる まち（志津へ）の愛着

志津南部3班

- おかじま
- やまがた
- ありま
- しらい
- おおもり

千葉大学ファシリテーター
◆ おおとも



自分にとって大事な行動と場所

集い

色々な人と交流できる場所。



志津図書館

学習・くつろぎ

好きな本を見つけたり、学習することができる。くつろげるスペースがある。



志津図書館



コミュニティ活動

様々な目的で活用している。利便性が高い。



志津図書館

自由度が高い

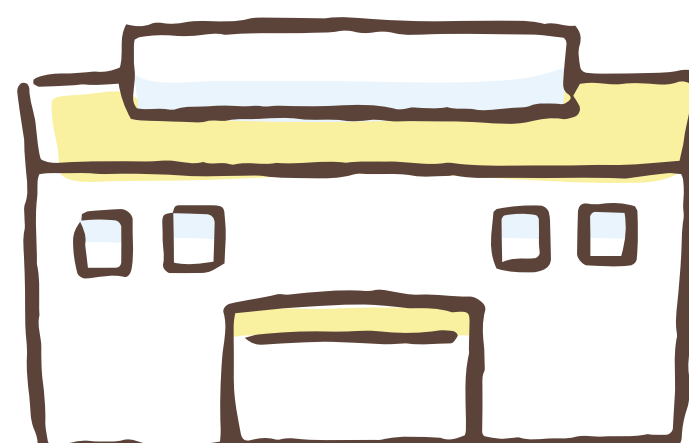


地域の課題

既存施設を有効活用できていない

志津図書館・西部保健センター

あるものをもっとつかう！



利用できる世代が限られている

志津図書館

子どもの居場所が身近に少ない

子供が遊べる屋内の場所が徒歩圏内にない。子育てしやすい街にしたい。

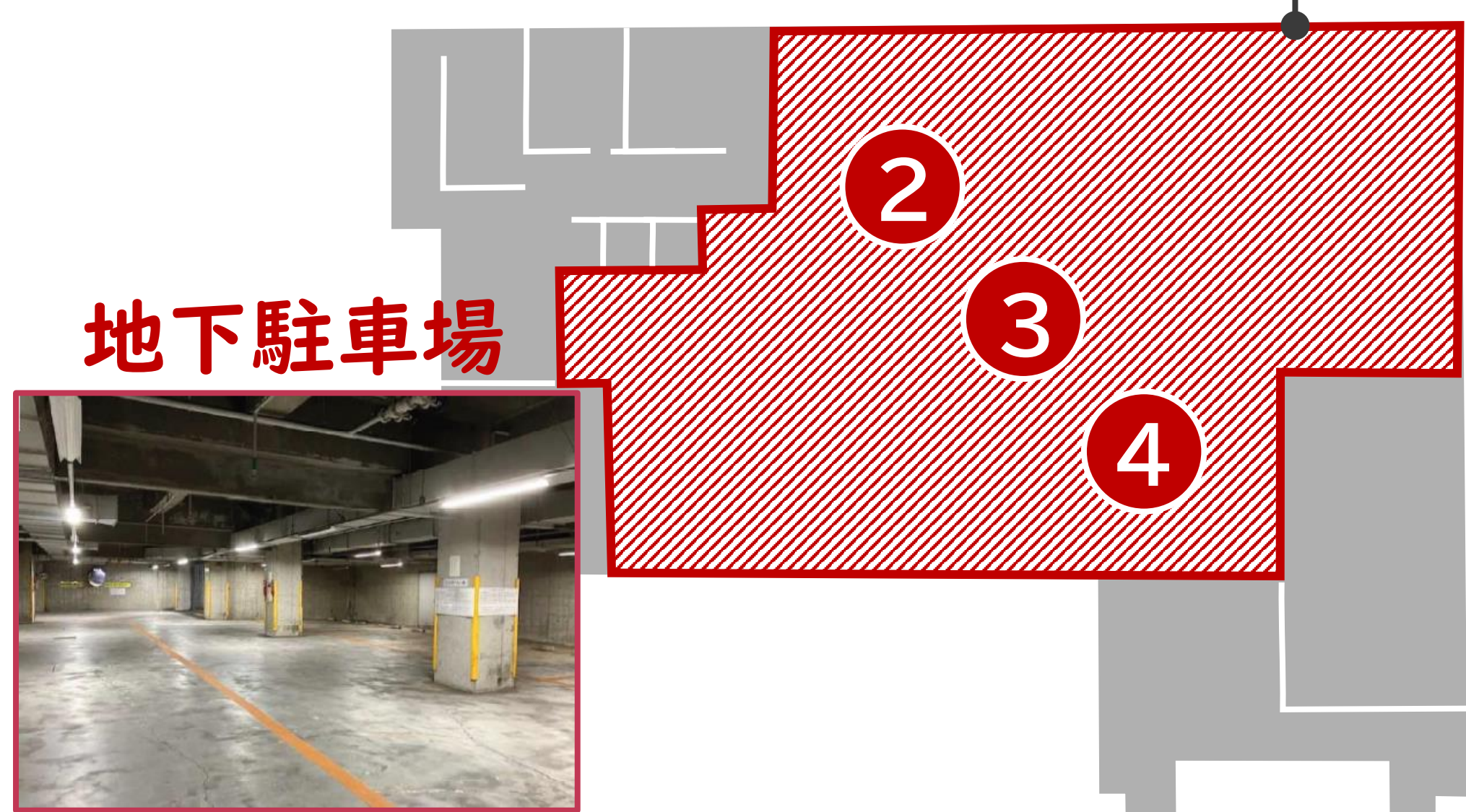


志津児童センター・ルームさくら等

西志津ふれあいセンター

1階

地下



地域にとって大事なこと

図書館から始まるまち（志津）への愛着

解決のコンセプト

コミュニティ活動の応援

ボランティアやコミュニティ活動を活発にできる場の提供が欲しい



夜間利用で多世代交流

施設の利用時間延長 ⇒ 人々の
出会う機会
が増える

ランドマークになる図書館を通じて思い出が増えていく

具体的アイデア

「志津に愛着を持つ会」設立

- ・ 行政と市民混合
- ・ 小さくはじめる

企画段階で関係する人たち（行政課・団体等）が
同じ熱量・レベルで話し合う

志津図書館の用途拡大・イベント開催

- ・ 施設の利用時間延長
- ・ 地下駐車場も活用
- ・ サービスセンターは廃止
- ・ 月1回イベント開催
 - ① 夜のカフェバー
 - ② アートイベント
 - ③ ローラースケート
 - ④ お化け屋敷
 - ⑤ 夜のライブ
 - ⑥ ファッションショー

財政的目線



行政 利用料を徴収
市民 販売可能

- ・ 西部保健センターの機能を図書館や小学校に移転 ⇒ 削減した費用でバス運行充実・イベント開催
- ・ 指定管理者制度活用も検討